

中齋塾 東京フォーラム
平成 28 年度 第六回講話

平成 28 年 6 月 11 日
於 湯島聖堂

猪瀬理事長が大変難しいことを言われました。「塾長は道を教えてくれる」と。私も「道」は知りたいと努力中で勉強中です。ただ言えることは「中齋塾って何ですか」と聞かれましたら「一服の清涼剤を飲みにいらいっしょい」と、そんな感じで話をします。ちょっと興味を持った方だと、悩んだり苦しんだり困ったりする。そういう時に解決する手立てが人によって違いはありますが、何となく分かりますよと言うと、ズバツとは中々いかないが、相手の顔を見てごく当たり前のことを話します。例えば、学者みたいな顔をしている人には「あなたは学問を何のために研究していますか、習っていますか」と。

学問は日常生活に役立つことを、人間の歴史や人間が色々なことを覚えたそれを体系化したものであるといます。誰でもやっていることを、今の人はどうやっているんだろう、ちょっと前の人はどうやっているんだろうと遡っていきます。明治・大正・昭和ぐらいまでいって、それであきたらなければ江戸時代、さらにどんどん遡って縄文時代に行く。

これ暗記したのですが、現在の人口が約 72 億人、2 千の民族、196 か国。地球がとんでもない状況になってきている。だから今まで体験したことのないことがこれから出てくる。今も出ているという状況です。

困ったとき・苦しいとき・悩んでいるとき、学を学ぶ。学ぶ理由はそういう時に茫然自失にならない。泰然自若として我を失わない。自分らしさをそのまま継続できる。自分が自分であり続ける。学ぶとは、そういうことではないでしょうか。それらのヒントが中齋塾にありますよと言います。「具体的に何をやっているんですか」と聞いたら、「あなたは嘘をつくのは好きですか」と、聞きます。商売で嘘をつくのが好きな人も結構いるとは思いますが、…今朝テレビを見ていたら、道行く人に「梶添都知事の話は納得しましたか」とアンケートを 100 人にとっていました。皆さん納得しなかった。1 人だけ「納得した」という女性がいたので、アナウンサーが「何で納得したのですか」と聞いたら「呆れてしまって何も言えない。さっさとこの問題を片づけないと、本来の都議会が進まないじゃないですか」と。だから納得したという設問がおかしいけれど、もう呆れ果てたから論評に値しない。したがって納得したということです。設問のマルを付けるところが違うけれど、しょうがない。そういうことがテレビで流れていました。先ほど猪瀬理事長が言っていました「嘘をずっとついていると荒んでくる」に繋がると思います。

不思議だなど思うことは、政治家が重い地位に就くと、どんどん人相が悪くなりますでしょう。本当に顔色が悪くなって青黒くなる。目つきは血走って荒んでくるし、嘘ついている人の表情はとても悪いです。安倍さんは思ったほどそんなに悪くならないと思います。信念を持ってやっているからかなという気がしています。お父さんやお祖父さんの想いがあって三代にわたる気持ちがあり、そして私は良いことをしているという信念でやっているから、目つきもさほど血走らず青黒くもならず病魔にもそんなに侵されずだと思いますが、でもお医者さんとは相当相談しあっていると思います。もし悪いことをしていると自覚があれば長続きはしないと思っています。しかるに榊添現象なるものは、良心があるのかなと思いました。今は緊張感があるから何とか持っているのでしょう。色々な問題があるから、それに乗っかって榊添さんも降りたくないから降りないね。なんともはや見苦しいとは思いますがけれども執着することがわからないでもない。ただ榊添さんが世に出るきっかけになった大きなものとして母親の介護・看病がありましたけれども、身内からは「あの人は看病してないですよ」と。本人にすれば余計なことをとお思いでしょうが、でもやったことだから仕方がないですね。とにかく「天知る・地知る・我知る」という言葉がありますから、そこで見ればいいんじゃないかなと思う。榊添さんは違った興味で、よくぞあれだけタフで精神的に持つものだと思います。ただ家族が耐えがたいと感じます。

猪瀬理事長の話から、ぼこぼここと浮かんできましたが、「道」は「タオ」と言います。中斎塾フォーラム参与で中里麦外先生と論語に関して話をした時に「論語の骨格は何か」と話をすると、どなたも「仁」という。確かに仁は重要ですが、私はどう考えても「述」であると話をしたら、麦外先生は「私は道であると思います」と。二人で色々話をしている「道」や「述」二つの大きな柱でみようとなりました。「仁」は、もうごく当たり前の話になっていますから、これはこれで良いということです。

「述」はバトンタッチです。例えば今年 19 日に岡山県高梁市に参ります。「山田方谷祭」というお祭りの講演を頼まれました。その講演会のタイトルで、私から「山田方谷の人物像」と「人間味」どちらか選んでくださいと事務局に連絡したら、間髪入れずに人間味でと連絡がきました。考えてみたら、地元高梁の方々は人物像なんて重々承知だと思えます。今は人間味という違った角度でお話をするのがよかろうと思っています。そうすると先ほど話していましたが「述」に繋がってきます。

山田方谷先生の曾祖父が問題を起こします。問題を起こした結果、自分の土地にすることができない。全財産没収されて外に出されてしまったということがあります。時代の流れもありますけれども、三代続いての想いが方谷という先生を开花せしめたと思います。そうすると安倍さんも同じように三代の想いがあるということで、遡っていけば DNA という言い方になるのでしょうかけれども、やっぱり過去を振り返るということは誰でもあるし、

ルーツを調べるということもあるでしょう。

「述」や「道」の話に触れましたが、人間として気持ちが荒まずに正しく生きていける方法を凝縮して「道」という言い方をしています。

今、卓上に置いてある水を飲んでいますが、この水も人間が生きていく上において、とても必要な物だと思います。「道」を考えていくときに人間の精神的なものと物質的なものを考える。

この間、私は空気から水を作り出す装置を玄関に置いてある人がいたので、見てきました。1日20リットル作れるそうです。中を開けて見せてくれました。「どこで使っているのか」と聞きましたら、NASAや潜水艦の中で使っていて、潜水艦に置いてあるのは大型だそうです。これも多分「道」のなせる業と思っています。

猪瀬理事長の話から広がってきましたが、私のベースは陽明学です。陽明学は行動を主としますので、空気から水を作る装置も見たいと思ったので見に行きました。見たい・やりたい・聞きたい・話したい。何かをしたいという気持ちが強烈であればあるほど、どうしても行動にでます。

動いたところで言いますと、昨日はトロッコ列車に乗って寒い所にいました。生まれて初めて乗りましたが、切符を買う時に「窓がある列車がいいか。窓のない列車がいいか」と聞かれたので、窓のない列車だったら是非乗りたいと思いましたが、妻も一緒に行きましたので、半分半分にしようとなりました。行きはどうも寒そうだし雨も降りそうだから窓のある列車。帰りは窓のない列車にしました。この列車は黒部ダムで工事をする人達がトロッコに乗るものを観光用に作り変えた物だそうです。黒部ダムの方角に向かって1時間20分乗っていましたが、窓付きは気楽に乗っていました。着いたら雨も少し降っていて寒かった。しかも帰りの列車に乗る時に、駅員総出で雑巾を持って立っている。理由を聞いたら、「お客さんの乗るところが濡れていますから、一所懸命拭きますので、なるべく濡れてないところを選んで座ってください」と言われまして、窓のない列車に座りましたが、寒くてガタガタ震えました。窓のある列車は良いなと帰りがけに思いました。当たり前のことですが、これも行動することで分かる。聞いているだけでは、実際に体験することと違います。それが昨日のお話です。

今年は農業法人を作りたいと前から申しています。具体的に進んでいますが、日本の国というよりは農業委員会かな、農家でない人が農業をやろうとすると、排除すること凄まじい。でも今年は少し形が変わって、農業委員会から言われた内容をそのまま実行しようとしています。農家を守るために法律ができていますので、農業をしていない人が参入す

るのは今まで駄目だと撥ねていましたが、少し隙間を作ったようです。

私は日本の国がひっくり返って食べ物が輸入できなくなる。自給自足ができなくなる時代が遠からず来ると思っていますので、そのために 1 万人ぐらいの人が、ご飯を食べられるようにと野菜を作り、お米を作りたいと思っています。新たな農業を展開したいと思っています。事業計画以外のことが固まってきましたので、視察に行きました。

那須塩原市にアジア学院という農業指導者を養成する専門学校があります。アジア、アフリカ等の農業指導者を養成する。1 万 8 千坪の敷地に、鶏や豚など家畜を飼い、集まってきた若者達は全寮制、自給自足で共同生活を続ける。農業は自国に帰った時に農業が出来るようなやりかた、鍬・鍬で使えるような農業を行っていました。そこでは当然、農薬は使わない。地元の人達ができるような農業をここで覚えて帰るといふ動きを長くしています。これは良いなと思いました。出てきたカレーを食べたら美味しかった。肥料が良いからとか色々言っていましたけれども、カレーの中に豚肉が入っていて食べましたが、自給自足でどうやったら美味しい肉になるのか、どんな顔した豚かと思って見に行ったら、大きかった。ゆったり構えて清潔でした。豚は汚い所が嫌いだそうです。実際に綺麗でした。聞いたら、この豚は 20 頭産む。それで皆ストレスなく飼育しているから、食べたら美味しかったですという事でした。

今月の 20 日は農薬メーカーで 100 年続いている老舗イノチオグループに行ってきます。ここは農家の方が色々チャレンジしていることを応援している会社です。そこへ見学に行きます。ということで、陽明学は何か考えたら行動する。行動すると、その次の行動するものがまた自然と見えてくる。次から次に繋がってきます。今考えている自給自足は、結果として循環型社会そういう流れにきていると感じています。

行動の最後でスマホ。今メールを自然に使っていますが、2~3 日前メールが使えなくなりました。メールを使おうと思うとドコモから契約書が送られてきます。ドコモと契約をしないと次に進めません。私は契約したくないと思い NO と返事をする。半日ぐらい経つと、またドコモの契約書がくる。それを 2 日間続けていたらメールが使えなくなる。腹が立ってドコモショップまで出掛けました。私はスマホに送られる許諾契約書を読んでいたら、勝手に PR 商品を送り付けます。それにかかる費用は全てあなた持ちですと書いてある。だから NO とやったらメールが使えなくなったと文句をいいたら、ドコモ曰く自動契約の自動更新だから素直に YES とやればいいんですよと、なまじずっと読んで気に食わない文章があっても、以前に YES としているから YES にしてくださいと。YES にしないとメールが使えない。しかたがないから YES にして、あとは色々なメールが送られてくるのでそんなもの送ってほしくないから全部切って頂戴と言った。専門家なのに、これはドコモが送ったメールだし、これは代理店が送っているメールだしと色々なところから送られてくるものは全部防ぎようがありませんと言っていました。不完全な商品だなと思っていたら、今日の新聞を見るとウィンドウズが勝手にセキュリティを強化して自動更新をする。

今までは説明していた手順が浸透してセキュリティを変えていたものが、時間がなくなって自分達が大変だから、通知を拒否しない人は勝手に切り替わる。正式にキャンセルをしないと更新をしてしまう。キャンセルするためには面倒くさい手順を踏まなければキャンセルできない。独占企業はこんなことをするのだなと思いました。

谷口副代表幹事一少し質問してよろしいでしょうか。農業の件ですが、そのうち食べる物が無くなると心配しています。自給率の問題がありますけれど、物が無くなったら自分達で作らなければいけないが、それ以前に日本の農業がおかしくなっていること。自国の自給率が非常に下がっている。輸出している国が、これから先「輸出は嫌だ」と言ったら、日本に物が入らなくなる。その自覚がないと感ずるのですが、その辺についてはどう考えていますか。

私は日本政府のいう数字は嘘だと思っています。だから 40%の自給率とか、本当なのかなと思っています。日本の 1 千兆円の借金とか、あんなものはまがい物だという気がしています。気がしているだけだから根拠はありませんよ。ただ日本の歴史をみると、何度も飢饉が発生し飢死にしている人がたくさんいる。若い娘さんを遊郭に売る。山田方谷の時代でも、河井継之助が備中松山藩の隣の藩で飯盛り女のところに泊ったら「私は隣の藩に生まれたかった。飢饉の時にはお米を出し、みんなを助けてくれたので飢死にしなかったが、うちの藩は飢死にが多かった」飢死にの記憶は、人類の歴史の中で当たり前にある。今、食べ物があることがとってもイレギュラーな時代だと思います。歴史を眺めてみると、飢死はごく当たり前のことだった。今は飢死にが減っただけの話です。

今あるグローバルなんていうのは、アメリカ・ヨーロッパのやりやすいように、商売しやすいように、自分達の都合のいいルールを各国に押し付けているだけ。その人達が出している統計は、まやかしかもいいとこだと私は思う。

脱線しますけど、安倍さんがやるアベノミクス。野党がよく言うじゃないですか、「数字は安倍さん都合のいい数字ばかり切り取って発表している」と、野党が我々の数字で見ると全然アベノミクスは駄目だと。同じ数字の中で抽出しているだけですから、片方は成功と言うし、もう片方は失敗と言う。

私は世間の話を盲信せず、自分自身の判断・直感を信じるべきだと思っています。

谷口副代表幹事一私も数字はどうでもいいと思っています。実家も昔は麦も作っていましたが、今はどこも作らないで輸入しています。トウモロコシもそうです。お付き合いで輸入枠を増やしてもいいのですけれど、それによって農家が作物を作れなくなってしまう。自給率が政治によって変えられてしまったという気がするので、お聞きしました。

自給率は政府のコントロールひとつで変わると考えています。この間、東和銀行の頭取とお喋りをしている中でこんな話がありました。「深澤さんが考えている農業法人はスイスの武装中立国のような発想ですね」と言いますから「そうですね」と、「だけど1万人分ぐらいでは足りない」という話になりました。詰めてみると「スイスの作るパンは不味い。とても不味いということで評判です」と。スイスに行って、これは不味いと思ったら当たり前だということです。小麦粉を作ったら2年間は備蓄して食べてはいけません。それで2年経ったら食べてよいということです。できた小麦粉は備蓄して、飢饉や戦争が起きたら、食べ物なくなるので、主食だけはなんとか確保する。それで敵が攻めてきたら家族一丸となって敵に対抗せよということを目の当りに見ました。昔スイス政府は国民に核シェルターを作らせていましたが、最近は核シェルターも物置小屋なんかになっているようですが、私が体験したのは、そういうことでしたと頭取が話していました。

東京都が最初言っていたことは3日間備蓄せよ。次は1週間で最近は3ヶ月備蓄とっています。根っこにあるのはスイスの2年間ですが、日本は2年間とは言えませんね。

散らかっている話の理由は、前も申しましたけれども、何故こちらの話をいくつもするかということをおし上げておきます。

日本の歴史・日本の哲学・考え方、これを縦軸とします。横軸は博学、例えば安岡正篤先生のテープを、ここのところ毎日聞いています。肉声で聞くのは面白いですね。詔勅の時ですけれど、天皇陛下の詔勅を出す時に二つ「義命の存するところ」と「万世の為に太平を開かむと欲す」という科白だけは詔勅の中に入れなければ承知せんと言ったけれども、入らなかった。「天皇の出される詔勅に手を入れたことは名誉なことではないか」と、世の中の人に直接言われたが、とんでもない。私は腹が立ってどうにもならないと話しています。内閣の阿呆共が自分の無学を棚に上げて「義命の存するところ」を、己が知らないから、一般国民に分かるわけがないと言って「義命の存するところ」を、「自運の赴くところ」に変えた。内閣の阿呆は度し難いみたいなことを話している。それで色々聞かれても癪にさわって絶対このことは触れたくないと書いていたら、その時の内閣の大臣達が集まって、反省会を開きたいという話があり、出掛けて行きました。出掛けて内閣の阿呆共が何と言うかと思ったら、さっき言った科白そのまま「あんた方は自分の無学を棚に上げて国民が分からないだろうと勝手に思い、義命の存するところという非常に大事なところをカットしたのはけしからん。自分の無学を棚にあげる馬鹿がいるか」ということを喋ったら、胸がスーとしたので、まあこれで矛先を収めようという気持ちになったということです。背景には「義命の存するところ」と「万世の為に太平を開かむと欲す」については、戦争に負けた時、負けた人間が大法螺を吹くと、とんでもない大所高所から言う。天下万民のために降伏をしてあげるんだという。これは大法螺を吹いたと思われても当たり前。私は大法螺を吹いたと思っているのだから大法螺なのだ。そういうものをさりげない言葉で

中国の古典の中から取って詔勅の中に入れてたいという学者としての野望を抱いたと言っておられる。御本人はその時に腹が立ったのが、後世の学者が昔を振り返って安岡という学者は博識かも知れぬが達識ではないと評価をするであろうから詔勅について話したくないという。

博識を出すために安岡先生を出してしまいましたが、博識とは物をたくさん知っているということです。だから横軸は知識がたくさんあります。色々なことを専門的なものもひっくるめてたくさん知っているということが博識です。

縦軸をしっかり腹に入れ、横軸の知識が増えていくと飽和点に達する。そうすると新しい知恵や悟り、悟りに近い知恵が生まれます。ある日、突然ハッと思う。

石川梅次郎先生風に言うと、心身脱落の境地を味わうことができる。この間、若干それらしきものを少し感じました。これが木内信胤先生のいわれる腑に落ちたということだなと思っています。腑に落ちた物が積み重なると爆発するという気がしています。今、私がお話させて戴いているものは、そう間違いではないと思います。先生は「我が道を後から歩むな、我が訪ねたる道を歩め」と言われています。

先生が目指している方向に行こうと思って、同じ目的を持って歩んでいけば、その先生と同じ道を通るであろうということです。

凄いなという先生がいたら、その先生が目指したものを一緒に目指しましょうというふうに御理解下さい。

恒例の質問

・そろそろ半年経ちます。今年、良い日が比較的続いていると思う方？

自分が今苦しんでいることは、天が自分を成長させるために、発展させるために、より良い人生を歩ませるために、この困難を与えられた。与えられたと思うと、ホセ・ムヒカさん。牢獄に入って、出てくる蟻を見て蟻にぶつぶつ呟いている時間がもの凄く長かった。そういうことから考えてみれば今自分に与えられた試練、これは天が自分を成長させるために与えた試練であると思うと良い日ではないでしょうか。

もう一回聞きます。今年、良い日が続いているなと思う方？

無理やり手を挙げさせちゃったな。でもそういう考え方で、進めた方が良いと思いますよ。

・今年に入って嘘は比較的つかなかった。

・今年に入って有難うと言い、有難うと言われることが多かった。

有難うと人から言われていることは、何か人様にしてあげているということです。とて

も良いことです。

・今年に入って常に健康法を実践されている方。

最近ね、断言するようになってきました。体が柔らかい人は頭も柔らかい。頭が固い人は体も固い。だから体が柔らかくなってくると頭も柔らかいですよ、だから柔らかくしましょう。

・明日を過去形でイメージして昨晚寝た方。

大野参与は、たぶんネガティブなことを時々考えて寝るのではないのでしょうか。そうみると、陽気で人を明るく楽しくさせる人は、たぶん一人になると、とても辛く苦しそうにしている。色々話を聞いていると、そのような方は多いですね。地で明るく楽しくやれる人は良いのですが、務めて周りを明るく楽しくさせている人は、一人になった時とても辛く苦しいということがどうも多い。できれば天然でいくのが良いなと思いますので、ちょっと付け加えます。

・今年に入って自分自身を磨く、自分磨きをしていると自負しておられる方。頭でも体でも良いし、全部です。

<休憩>

司会—比田井副理事長から、先ほどの御本を紹介させていただきます。

比田井副理事長—ちょっと御説明を致します。読んだ方もいるとは思いますが、私も中斎塾に入りまして、もう10年近くなります。非常に勉強になりました。世の中の色々で行われている事柄を判断していくという能力が自分の中で研鑽されてきた気がします。

安岡先生の言葉で、自分が求めているものが、どこの棚に何があるのか瞬間的に分かる。私は別に探もしないのに本屋にパッと入った時に、この本『ハーバードの人生が変わる東洋哲学』が目につきました。

今、ハーバード大学が、なぜ東洋哲学を取り上げたのか。普通は東洋の「道」なんてやりません。最初に書いてあります言葉が、今日、塾長と猪瀬理事長がお話になりました「道」が書いてあります。講師が700人を前にして、この2年ぐらい続いている人気講義です。これは非常に感動があるそうです。自分たちの生き方が、自分がどう生きるか、どう考えるかと、少しずつ何か分かってきたような感じだそうです。

論語の「人能く道を弘む。道、人を弘むに非ず」これがトップページに書いてあります。中身は孔子から始まって孟子、老子、荀子、東洋哲学ですね。学生たちが何を一番感じたかと言ったら、自分だそうです。自分を変えることによって想いが変わってくる。ハーバ

一ド大学に入っている学生は、御存知のとおりエリートですね。でもそれだけではないということが、何となく掴めたようなことがここに書いてあります。たぶん、この講義が終わるまでに少しずつ変わっていくんじゃないかと思います。本を回しますので、もし興味がありましたら、どうぞお買い求めください。

司会—有難うございます。では講話の続きを、塾長お願い致します。

論語の視点

この間「殿、利息でござる！」という映画を見ました。面白かった。町人が殿様に一千両を貸して 1 割の利息を取る。それが長い間ずっと続いたという実話を元にして描かれた話です。面白いなと思ったのが、町人の目で見ると、うちのお殿様はお金がないよ、困っているはずだから貸付けようじゃないかと思ったことです。お殿様はお金がなくて困っているよと話題になることが面白い。

<憲問 第十四>

【一四】子 公叔文子を公明賈に問いて曰く、信なるか、夫子の言わず笑わず取らざることとは。公明賈 対えて曰く、以て告ぐる者の過てるなり。夫子は時ありて然る後に言う。人 其の言うことを厭わず。楽しみて然る後に笑う。人 其の笑うことを厭わず。義ありて然る後に取る。人 其の取ることを厭わずと。子曰く、其れ然り、豈其れ然らんやと。

孔子が見て、公叔文子は衛の大臣です。大金持ち。パナマ文書に出るような大金持ちということでしょう。大金持ちで、ゆったりしている人間だから、その人物像に至っては偏見だか先見だかは分からないが、それなりの人物像がある。

孔子が「公叔文子はどういう人間か」と、公明賈に聞いたら、「信なるか」世間の評判は本当かい。物も言わないし笑わないし、取ることはしないと。公明賈が答えて「以て告ぐる者の過てるなり」それは先生に言った人達が間違っています。「夫子は時ありて然る後に言う」夫子は、あの人はここぞという時には発言します。それを聞いている人達は、言うべき時に言うからうるさいとは感じない。「楽しみて然る後に笑う」本当に楽しい時は笑う。これは他の人達だって笑っているから別に目立ちはしない、ごく当たり前さきりげなく受け止められるということだと思います。それから「人其の笑うことを厭わず」これはいちいち気にしはしない。「義ありて然る後に取る」これも取るべき時に取る。

群馬郷学会で講演会をした時、大河ドラマの裏話をしてもらった人に講演料を払おうとしたら、「私は市役所の人間で給料を貰っているから頂けません」と断りました。これは良いのですが、事務局が困りますと色々と言っていたら、折衷案で「講演料は参加者の方々に食事をするのでしたら、食事代の一部で使っていただければ私は結構です」と終わった。

実際に食事代は講演料で支払いました。暫くしたら「講演料は寄付金で貰う分には構わない。本人の懐には入らないけど自治体に入る分は構わない」と言う。あとから寄付金を持っていかざるをえなくなりまして、持っていきました。「**義ありて然る後取る**」取るべき時にはしっかり取ればいい。こういう後出しジャンケンをしなればいいのと思いました。それから「**人其の取ることを厭わずと**」でも取るべき時に取るから周りの人は気にしない。孔子が言うには「**其れ然り、荳其れ然らんやと**」そうかね、私はそうでもないかもしれないと思うが、そうかねと。独り言ですね、というふうに書いてあります。腹の中では金持ち喧嘩せずというぐらいで終わった。

谷口副代表幹事—最後のところは嫌味ですか。

嫌味でしょうね。孔子はけっこう嫌味を言います。孔子は嫌味も言うし愚痴も言う。だから読んでみると面白い。孔子というと、孔先生ですから頭が下がりそうな感じがしますが、よく読んでみると、愚痴はこぼしているし人間臭くて良いなと思います。ただ不思議なのは、本当に女っ気がない。孔子の映画を作った人達は困ったろうね。無理やり色気を出した映画になりましたから、あれはちょっと不自然だった。

紹介書籍

『幸せの遺伝子—「ひらがな言葉」が眠れる力を引き出す!』村上和雄著 育鵬社

それから今日の判断基準で、前に回した本です『幸せの遺伝子』これ回します。

「有難う」という言葉がこの中に入っています。これは何回見ても良いと思う。有難うという言葉の解釈があるし、説法しているものもある。日本の文化は重ね着の文化といえます。重ね着をしていく文化だからこそ、これからの世界を救う思想が日本文化の中に入っている。その日本文化の基になっている物も見ただけで良いでしょう。

時事評論

これ今日の読売新聞です。色々な新聞にも出ていますが「日本火山列島」どこが危ないとか色々書いてある。自分のところがいつ地震が起きて酷い目にあうか分からない。ただそれだけですけれども、この辺りが危ないと言い続けているが、全然違うところで起きていますから、「日本は火山列島でどこもかしこも危ないなと思え」ということでよいと思います。

それから時事評論の理由で、前に申し上げた時は、新聞は話半分で読みましようと言いましたが、最近の学生は学校で新聞を読んでいると恰好悪い。みんなスマホをやるから、新聞のような紙を広げて読むのはおかしいんだそうです。あれはアメリカだったかな、紙の新聞を大きく売り出したらすぐ潰れたという記事がありました。そんなこともあります。新聞の見方は、特に日本の新聞はヒントが入っていると思うだけにしましよう。新聞に書いてあるもので何か気になることがあったら、それをきっかけにして自分で調べましよう。その入り口を教えてくれるのが新聞だと思えばよいでしょう。書いてあることを信用しないということです。自分が調べたくなるような動機付けが新聞にある。最近新聞に関係している人は、そういう話をしてもとんでもないと怒らない。以前は怒ったけれど最近怒らないから自覚しています。大野さんとお喋りしたら、今どきの週刊誌は昔の新聞がやっていたような事を今やっていますということです。新聞はくれぐれもヒントだけだと思えばよいと思っています。

ただ新聞で見ようと思ったら、日本国の行く末。自分に関係するものでしたら、国債の動向、自然災害の流れは見ましよう。それから政権も、自公政権は是々非々で見ましよう。当時の政権が打つ無様な手も見ましようということで、新聞は見ましようということを行いました。

それで今回は、今朝見たものの印象ですが、だんだん世の中がきな臭い話が出てきました。北朝鮮の金正恩は冷や冷やしているから、こういうことをしていると思う。それからフランスのサッカー場がテロ厳戒態勢に入ったとあります。荷物検査は三回実施する方針である。この間、オバマ大統領が来日しましたがけれども、オバマさんは自分が乗る車を持ってきました。日本にいたら、やられると思っているからでしょう。

今頃になって出てきているのは、原発に関することですね。東日本大震災に伴う福島原発事故で不通になっている福島県南相馬市のJRが7月12日、運転再開に向けて試運転が行われている。原ノ町から小田川駅間9・4キロと書いてあります。この区間は約5年4か月ぶりに開通すると書いてある。まあなんと遅いことよと感じます。

テーマ

<判断基準を持っているか>

判断基準どうでしょうかね。私は何かこういう判断基準があるという方？パッとでは出てこないでしょうか。

私は判断基準を論語の中から選んでいますから、皆さまも論語の中から何か選ばれるとよいでしょう。

山田方谷が 15 歳の時に、父親の五郎吉が死ぬ寸前、子供に書き残した訓示があります。それが山田方谷の判断基準になったようです。

今の時代だと、お金に対してどういう判断基準を持つか、食べ物に対して、それから認知症対策などです。そういうものが判断基準です。

大きな人生の判断基準と小さな細々とした物に対する判断基準というものを、それぞれお持ちになれば良いと思います。ポイントは何か困った時、真っ白になった時に、それを思い出せば気持ちが落ち着いて、自分の人生の身の処し方、接し方が見えてくるような判断基準が良いと思います。

私は「利によりて行えば怨み多し」が、自分自身の判断基準であるということを申し上げています。

猪瀬理事長すみませんが、募金のお話をお願いします。

猪瀬理事長一熊本地震支援の寄付をお願いしたいと思っています。木内顧問に御紹介された野口市議員が熊本県の宇土市に住んでおります。御紹介されて、もう 20 年ですかね。木内顧問から、塾長のところになんとか協力していただけないかと要請がきまして、中斎塾でほんの気持ちでいいんで、東京と北関東の皆様からの気持ちをいただいて、送ってあげようかなと思っています。今月と来月ありますので、是非ほんの気持ちで結構ですので、寄付の箱を用意しますので入れてください。よろしくお願いします。

本日はこれで終了とさせていただきます。有難うございました。